

＝かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）環境教育委員会＝

環境教育/学習出前授業・講習などの実施報告書

記入者名 (指導者)	高橋 弘二 (ECU 環境教育インストラクター)
実施した 学校/団体等	学校・団体名： 横須賀市立望洋小学校
	所在地(市町村)：横須賀市桜が丘
	担当者(依頼者)：3年生担任 *横須賀市環境教育指導者派遣事業として
実施日時	2012年6月21日(月)午前中3回 ・2時限、3時限(屋外)、・4時限(雨のため教室で)
学年・対象人数	3年生3クラス(36~37人=110人)
テーマ	学校ビオトープについて
形態	■室内講義(話) □実験・実習 ■野外観察・自然体験
内容と時間	□ビオトープを前に(2、3組) 1. 自宅の庭の水槽で育ったヤマアカガエルのオタマジャクシの放流 2. 「池の中の生き物」「池の中の植物」「池のまわりの植物」「周辺で見つけた生き物、植物」について、スケッチする(2つ以上)。=観察力= *子どもたちが描いた生き物、植物を中心にビオトープについてのはなし。 *「学校ビオトープ」は人がつくった自然、維持管理が大切 *オオフサモ、クレソンから、外来種のはなし *池だけがビオトープではない。まわりの草原、畑、手作りタンボも含めて 緑・生き物が共生する広場である。 3. 質疑 □雨が降ってきたため教室での授業となった(1組) *用意したスライド(昨年の授業、事前調査)を映し、上記の内容で実施
教材	■手作りプリントA4(スケッチ用)、■調査結果(教師用) ■事前調査で採取した生き物、■ヤマアカガエルのオタマジャクシ(3組分)
指導協力者	・遠田和雄(環境教育指導者、KECA横須賀三浦支部) ・横須賀「水と環境」研究会会員(1人)
指導協力者の 募集	□環境教育指導者名簿から □KECA支部長の推薦(呼びかけ) ■その他(地元での環境保全活動の仲間)
実施するようになった最初の経緯	□直接、KECA事務所へ電話で □KECA支部長(会員)を通じて ■行政(横須賀市環境政策部環境企画課環境教育担当からの依頼)を通じて ■その他(昨年度も実施し、昨年の担任から引き継ぎがあった)
指導者の感想など	1. 先生、子どもたちが生き物に関心が深く、ビオトープの補修、維持管理を「生き物班」を中心にやってくれそうなので期待している。 2. スケッチすることで、しっかり物を見る。「アメンボの足が4本」「トンボの羽根が2枚」と描いた子が何人かいた。

学校ビオトープの授業写真集

〔写真1〕

3年生の総合的学習の時間で、学校のビオトープについての授業を行いました。

授業に先立ち、我が家で育ったヤマアカガエルのオタマジャクシを観察したあと、みんなで池に放流しました。



〔写真2〕

池のまわりで「池の中の生き物」「池の中の植物」「池のまわりの植物」「まわりで見つけた生き物、植物」を観察し、絵を描きました。

みんなが描いた生き物、植物について、誰も描かなかった生き物、植物のはなし、そして外来種のはなしなどをしました。



〔写真3〕

さらにお池のまわりで植物、生き物についてよく観察し、詳しいお話を聞きました。

ツバメが岸辺の土を持って飛んでいったのを見つけツバメの巣作りについての話し合いました。



〔写真4、5〕

授業に先立ち事前調査を行ったときに撮影したオニヤンマの産卵<下左>、ショウジョウトンボ<下右>のほかに、数種類のトンボが飛んでいました。

